

暗唱聖句: わたしたちの主イエス・キリストの父である神は、ほめたたえられますように。

(エフェソ 1:3)

今週の聖書教育誌の週題は「ほめたたえられますように」です。今週の第14課から19課の6回でエフェソの信徒への手紙を学びます。

エフェソは現在のトルコの西、エーゲ海に面した港町でアジア州の首都であり紀元前から豊穡の女神「アルテミス」を祭る壮麗な神殿のある場所でした。パウロは第二回伝道旅行でエルサレムに帰る途中に三カ月ほど滞在しています。このとき確かな伝道の手ごたえを感じたのでしょうか。第三回伝道旅行では内陸を通過して真っ先にエフェソへ向かい、約3年とどまって福音をエフェソを起点としてアジア州の全域に伝える働きをしました。この手紙は11課から13課で学んだコロサイの信徒への手紙と同時期にローマで軟禁されていたときに書かれたパウロの獄中書簡のひとつです。コロサイの信徒への手紙はコロサイ教会に起こった出来事に対するパウロの「み言葉」の取り次ぎでした。エフェソの信徒への手紙は単にひとつの教会宛てではなくエフェソを中心としたアジア州を含む信仰共同体に対して「教会」とは何かを「み言葉」から解き明かした内容となっています。「教会」は私たちが普段、礼拝に招かれている地域教会(バプテストは各個教会と呼ぶ)と救われた者すべてを包む普遍的な目には見えない教会があります。普遍的な教会は時代も地域も民族も超えてキリストを頭とする唯一の教会です。コロサイ書は地域教会について、エフェソ書は普遍的な教会の在り方についてパウロが神から啓示されたものを伝えたものです。

パウロは真っ先に神さまへの賛美を語ります。教会の営みや信仰生活の始まりにあるものは神をほめたたえること、礼拝からであることを語るのです。それは教会の最も大切に第一義としている礼拝の場で初めに父なる神をほめたたえることでもあります。私たちの常盤台教会もコロナ禍となり教会堂に集まれなくなった時に、何をおいても、どのようにしても礼拝だけは欠かさずささげたいとの皆さんの祈りによって、二年三カ月の期間を過ごしてきました。パウロは神さまのなさった御業の体験を自身も含めて積み上げていくうちに恵みの深さに感謝し、その応答として父なる神をほめたたえずにはおられないと告白しているのです。

1:3 わたしたちの主イエス・キリストの父である神は、ほめたたえられますように。神は、わたしたちをキリストにおいて、天のあらゆる霊的な祝福で満たしてくださいました。

パウロはわたしたちが神から受けている恵みと励ましはすべて「天にある霊的な祝福」からと考えていました。この祝福は神がキリストにあって与えてくださるのであり、キリストがおられたからこそ霊的な祝福をわたしが受けることができると語るのです。

霊的な祝福とはどのようなものでしょうか。

1:4 天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。

ヨハネ 15:16 あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。

私たちは偶然に生まれ、偶然に死んでゆく儂い存在ではなく、神のご計画の中に私たちはあるということです。天地創造の前からキリストを通して**私たちを選び**、救いの恵みに与るように秘められた計画をしておられるということです。

神は私たち人間には特別に自由意志を与えてくださいました。このことにより神との出会いの恵みも与えられますが、反面、人間は墮落し、罪を犯す存在になりうることも良くご存じでした。これらのことを分かったうえで神は愛する神の独り子・キリストをこの世に送り、私たちの罪の身代わりとしての贖いの十字架を受けてくださったのです。自分では到底、贖えない罪の結果として神に裁かれるこの身を

和解の道へと開いてくださったのです。神は私たち一人ひとりを愛され御腕のなかにやさしく包み込んでくださるのです。

1:8~9 神はこの恵みをわたしたちの上にあふれさせ、すべての知恵と理解とを与えて、秘められた計画をわたしたちに知らせてくださいました。これは、前もってキリストにおいてお決めになった神の御心によるものです

だから、この恵みを知らされた私たちは神のご計画に従う信仰と意思を持つ者としてキリストに倣い成熟させていただけるのです。選びと救いの確かさを知らされた私たちは喜びと希望に溢れて主なる神、御子なるイエス・キリストを、ほめたたえずにはおられないのです。

1:11 キリストにおいてわたしたちは、御心のままにすべてのことを行われる方の御計画によって前もって定められ、約束されたものの相続者とされました。

また、キリストによって私たちは神の前に傷の無い、聖い者とされ神の約束されたものの相続者とさせていただけるのです。この普通ではあり得ない恵みにも神をほめたたえずにはおられないのです。

1:13 あなたがたもまた、キリストにおいて、真理の言葉、救いをもたらす福音を聞き、そして信じて、約束された聖霊で証印を押されたのです。

「**あなたがた**」は異邦人の人たちに向けられた言葉です。異邦人もキリストにある真理の言葉を聞き、良きおとずれ・福音を神の使信として確かに聴いて受け入れキリスト者となった証しとして聖霊による証印を押される約束がされています。私たちの内におられる聖霊の働きは神を知る知識を与えてくださり、人生の試練から守ってくださるのです。この聖霊によりキリストと神とに繋がる恵みにも神をほめたたえずにはおられないのです。

このように「**天にある霊的な祝福**」は地上においても霊的に明らかにされました。異邦人の町であったエフェソの人々は福音にふれて、これまでは神を知らずに生きていたけれども神は自分たちを知っておられ、愛してくださり、神の器として選んでくださるといふ恵みを体験しました。「**神の恵みはキリストにおいて満ち溢れる**」と聖書の小見出しに記されたとおりです。この満ち溢れる恵みを前にして神をほめたたえずにはおられないのです。なぜ礼拝をするのですかと尋ねられることがあります。私たちは神をほめたたえるために礼拝をささげるのです。

今日においても神の選びと祝福は続いています。そのために先に救われた私たちは福音を語らねばなりません。恵みの証人となることをキリストは期待しておられます。教会の「めぐみかわら版」にも多くの教会の方々の証しが紹介されて、とても励まされています。常盤台教会はポストコロナの時代を迎えようとしています。神からの新しいビジョンが示されることを互いに祈りましょう。ビジョンが示された時に教会はまさにその中心として私たちと共にあるのです。

教会は建物を指すのではありません。キリストにあって招かれた者、すなわち選ばれた私たち自身が教会なのです。新来の方であれ、求道中の方であれ、先に救われた人も含めて選ばれてキリストによって招かれ集められたところが教会なのです。

1:3 わたしたちの主イエス・キリストの父である神は、ほめたたえられますように。

だから、神とキリストの深い恵みと愛を知ったならばほめたたえずにはおられないのです。

●分かち合い

- ・あなたが、主に感謝してほめたたえた経験はありますか。その恵みを分かち合ってみましょう。
- ・普遍的教会と地域（各個）教会の違いについて話し合ってみましょう。



ショートメッセージは、教会ホームページから動画でも視聴できます。
左のQRコードを読み込むか、スマホ・PCからご覧の方は[こちら](#)をクリックしてください。
公開：6月30日（木）～